



# 米国株 MARKET PICK UP



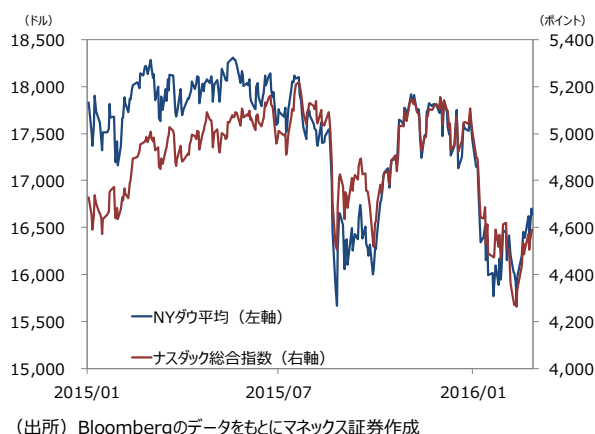
## 先週の米国株式市場—原油価格の上昇を好感し続伸—

	前週終値	2月22日	2月23日	2月24日	2月25日	2月26日	週間騰落幅	週間騰落率
ダウ平均	16,391.99	16,620.66	16,431.78	16,484.99	16,697.29	16,639.97	+247.98	+1.51%
騰落幅		+228.67	-188.88	+53.21	+212.30	-57.32		
S&P500	1,917.78	1,945.50	1,921.27	1,929.80	1,951.70	1,948.05	+30.27	+1.58%
騰落幅		+27.72	-24.23	+8.53	+21.90	-3.65		
ナスダック総合指数	4,504.43	4,570.61	4,503.58	4,542.61	4,582.21	4,590.47	+86.04	+1.91%
騰落幅		66.18	-67.02	+39.02	+39.60	+8.27		

### ＜先週の概況＞

先週の米国株式市場で、ダウ平均は週間で147ドル高と前週から続伸しました。S&P500 やナスダック総合指数もそれぞれ上昇しました。国際エネルギー機関（IEA）が今年のシェールオイルの生産量が減少するとの見込みを示したこと、サウジアラビア・ロシア・カタール・ベネズエラの4カ国会談が3月にも開催される見込みとなったことを受け、原油価格が上昇したことが好感されました。

NYダウ平均とナスダック総合指数の推移

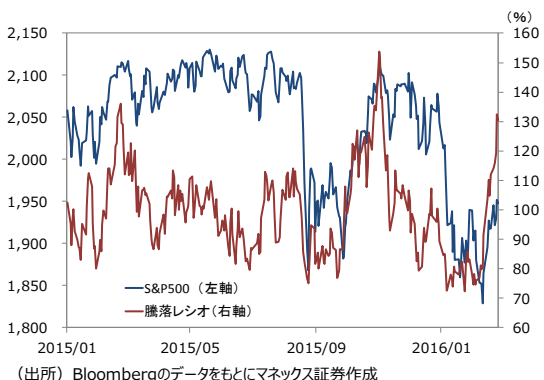


## 米国株式市場バリュエーション

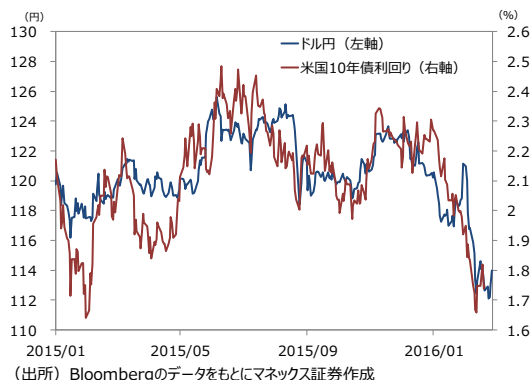
指数	予想PER (倍)	PBR (倍)	予想配当利回り
ダウ平均	15.1	2.9	2.8%
S&P500	16.3	2.7	2.4%
ナスダック総合指数	19.3	3.3	1.3%

(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成 (2016年2月26日時点)

S&P500と騰落レシオの推移

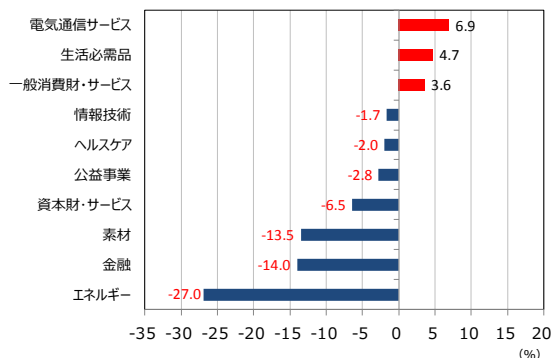


ドル円と米国長期金利の推移



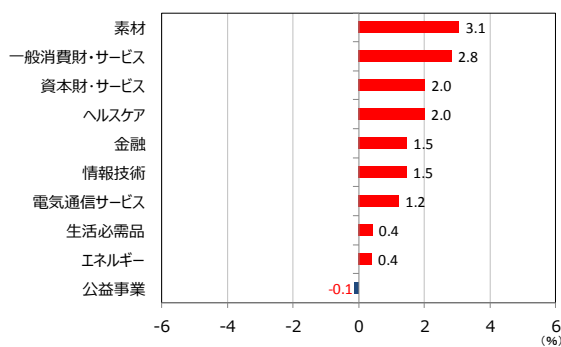
## 業種別リターン

S&P500 業種別昨年来リターン



(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成

S&P500 業種別週間リターン



(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成

## ダウ平均採用銘柄 週間騰落率ランキング

値上がり率ランキング (2/22-2/26)

ティッカー	銘柄名	週間騰落率 (%)
UTX	ユナイテッド・テクノロジーズ	10.7
NKE	ナイキ	5.5
INTC	インテル	3.8
HD	ホーム・デポ	3.8
UNH	ユナイテッドヘルスグループ	3.1
WMT	ウォルマート・ストアーズ	2.9
BA	ボーイング	2.6
DD	イー・アイ・デューポン・ドゥ・ヌメル	2.6
PFE	ファイザー	2.5
GS	ゴールドマン・サックスグループ	2.3

(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成

値下がり率ランキング (2/22-2/26)

ティッカー	銘柄名	週間騰落率 (%)
CVX	シェvron	-2.5
KO	ザ コカ・コーラカンパニー	-1.4
MSFT	マイクロソフト	-1.0
XOM	エクソンモービル	-0.9
PG	プロクター・アンド・ギャンブル・カンパニー	-0.8
IBM	IBM	-0.8
CSCO	シスコシステムズ	-0.5
JPM	JPMorgan Chase & Co.	-0.5

(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成

### <上昇>

ダウ平均採用の30銘柄中22銘柄が上昇しました。ユナイテッド・テクノロジーズ (UTX) はハネウェル・インターナショナル (HON) と合併交渉を行っていることと報じられたことから大きく買われました。ただし、ユナイテッド・テクノロジーズは今後の協議を進めない方針を発表しています。

### <下落>

シェvron (CVX) やエクソン・モービル (XOM) が下げたほか、マイクロソフト (MSFT)、IBM (IBM)、シスコシステムズ (CSCO) などハイテクの一角が下がっています。

## 先週発表された主な経済指標

中古住宅販売件数（年換算） 1月 547万件 市場予想 533万件 前月 545万件

24日に発表された1月の中古住宅販売件数は年換算547万件と、前月から小幅に増加し市場予想を上回りました。

米住宅市場の回復は緩やかなペースで継続しているという見方を裏付ける結果だったと言えます。

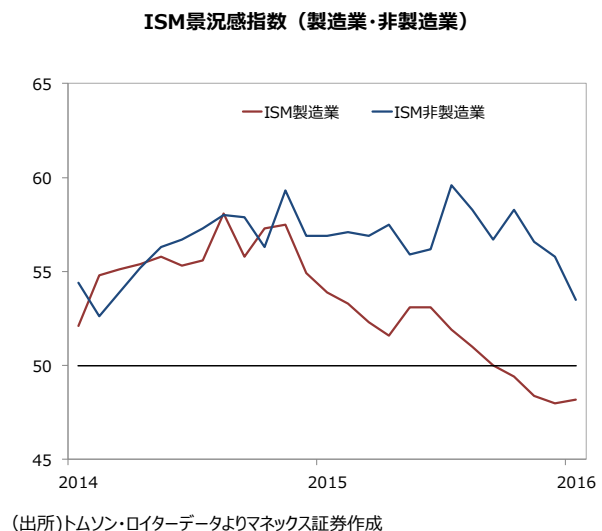


## 今後発表される主な経済指標

2月 ISM非製造業景況感指数 市場予想 53.0 前月 53.5

3月3日に2月のISM非製造業景況感指数が発表されます。1月分は12月分から2.3ポイントの大幅低下となり、米国の景気減速が意識されるきっかけとなりました。

2月分は市場予想では53.0と前月から小幅に低下すると予想されています。



## マーケットビューーISM 非製造業指数に注目ー

先週のマーケットビューーでは G20 財務相・中央銀行総裁会議を控えて様子見となりやすいのではないかと記しました。実際には原油価格の上昇などが好感され、米国株は堅調推移となりました。

今週は月初の週ということで、ISM 製造業指数・ISM 非製造業指数・雇用統計など重要指標が数多く発表されます。中でも注目されるのは ISM 非製造業指数でしょう。前月の発表時には市場予想を大幅に下回る悪化となり、3 月利上げ観測が大きく後退する結果となりました。同指数が一段の悪化となれば、利上げ観測後退という好材料になる一方、米国の景気停滞可能性の高まりという本来的にネガティブな要素であることから、株安につながる可能性もありそうです。

フィナンシャル・インテリジェンス部 益嶋 裕

ご留意いただきたい事項

マネックス証券(以下当社)は、本レポートの内容につきその正確性や完全性について意見を表明し、また保証するものではありません。記載した情報、予想および判断は有価証券の購入、売却、デリバティブ取引、その他の取引を推奨し、勧誘するものではありません。当社が有価証券の価格の上昇又は下落について断定的判断を提供することはありません。

本レポートに掲載される内容は、コメント執筆時における筆者の見解・予測であり、当社の意見や予測をあらわすものではありません。また、提供する情報等は作成時現在のものであり、今後予告なしに変更又は削除されることがございます。

当画面でご案内している内容は、当社でお取扱している商品・サービス等に関連する場合がありますが、投資判断の参考となる情報の提供を目的としており、投資勧誘を目的として作成したものではありません。

当社は本レポートの内容に依拠してお客様が取った行動の結果に対し責任を負うものではありません。投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断と責任でなさるようお願いいたします。

本レポートの内容に関する一切の権利は当社にありますので、当社の事前の書面による了解なしに転用・複製・配布することはできません。

当社でお取引いただく際は、所定の手数料や諸経費等をご負担いただく場合があります。お取引いただく各商品等には価格の変動・金利の変動・為替の変動等により、投資元本を割り込み、損失が生じるおそれがあります。また、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化等により、投資元本を割り込み、損失が生じるおそれがあります。信用取引、先物・オプション取引、外国為替証拠金取引をご利用いただく場合は、所定の保証金・証拠金をあらかじめいただく場合がございます。これらの取引には差し入れた保証金・証拠金(当初元本)を上回る損失が生じるおそれがあります。

なお、各商品毎の手数料等およびリスクなどの重要事項については、「[リスク・手数料などの重要事項に関する説明](#)」をよくお読みいただき、銘柄の選択、投資の最終決定は、ご自身のご判断で行ってください。

マネックス証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号  
 加入協会: 日本証券業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会